

認知症に関する活動計画（概要）

秋田県作業療法士会では、「認知症の人の家族の会 秋田県支部」と連携し、家族の会の行うイベントに積極的に協力して共同参加する。

また県士会会員向けの独自の規格としては、認知症に関わる作業療法士を対象としたワールドカフェ型のイベントを開催し、会員がどのような問題や悩みを抱えているのかの把握や、横のつながりを強化していく。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

- ・認知症の人の家族の会と共同で9月17日午前に、秋田駅前ぽぽろーどにて、認知症に関するパンフレットを配布する
- ・認知症の人の家族の会と共同で9月21日のセリオンタワーのライトアップイベントに参加する（19時～）



認知症の人と家族の会との連携事業

- ・家族会で主催するひまわりカフェに参加して、相談業務およびミニ講義を担当する
- ・上記アルツハイマーデーイベントへの共同参加など家族会が企画するイベントに共同参加する



認知症に関わる会員向けの事業（士会独自の取り組みなど）

今年度に関しては、ワールドカフェ型の対面イベントを企画している。詳細は今後決定するが、講義や事例発表ではなく、日々認知症者に関わっている作業療法士が、日常業務のなかでどのような問題や悩みを抱え、どのようにそれに対処しているのかについて、互いにざっくばらんに話し合えるような場を検討している。

COVID-19の影響・対応など

- ・県内の作業療法士が勤務する病院および介護保険施設においてもCOVID-19が発生した施設は多く、業務の一時的な中止や縮小および作業療法業務内容の変更を強いられた。その後は十分な感染対策を施し、基本的には通常業務に移行しているが、流行が完全に収束した状態ではないので、引き続き感染リスクが高い活動は控えているのが現状である。
- ・認知症カフェに関しては、家族会が主催するものを除き、大半がこの3年間活動を休止または大幅に縮小して活動してきたが、今年度に入り5類に移行後は、大半が活動を再開しつつある。